

## 地域ヒアリングでの意見要旨

### 旧軽井沢エリア②

日 時：平成 31 年 1 月 23 日 15:30～17:10

場 所：旧軽井沢公民館

#### ■地域の課題

---

##### ○別荘について

- ・別荘所有者が代替わりし、分譲のために木を切ってしまう。

##### ○商店街について

- ・地元の人ではないテナントが 8～9 割になっている。
- ・外国人観光客の中にはマナーが悪い人がおり、別荘住民と同じ店に入れることに戸惑っている状況がある。
- ・横道も含めて、空き店舗が 68 軒ある。
- ・家賃が高い。大家は生活に困っていないため、長く空き店舗になっていても家賃を下げない。

##### ○その他

- ・マンションやホテルの建設が多い。
- ・今は 18 時半には人がいなくなる。
- ・交通の便がよくなり、滞在型の人が少ない。
- ・軽井沢は歴史的な観点からも転地療養地であるべきだが、それを忘れて開発が行われていると思う。
- ・町民憲章にある「すべての来訪者に心あたたかく接しましょう」を実践できていない。
- ・別荘地の木が大きくなり、手入れがされておらず、倒木の危険がある。

#### ■望ましい将来像など

---

- ・別荘文化を、守らなければならない。
- ・品格ある地区にしたい。(歴史ある町だが、現状を見たらがっかりされるかも知れない。)
- ・旧軽井沢は別荘発祥の地であり、軽井沢全体にとって大切な場所である。
- ・規制を潜り抜けてマンションが建つとしても、軽井沢らしいデザインであればやむを得ないとも思える。一戸建ても含め、軽井沢らしいデザインや環境に配慮した配置等についてのルールも必要なのではないか。
- ・軽井沢の季節の移り変わりなど、住んでみなければ分からない魅力にも気づけた。訪れる人に良いところを伝えたい。
- ・昔は今ほど大きな木はなく、遠くまで見渡せた。木を切ることや、“森の中の軽井沢”の在り方についても考えていかなければならない。